

## 小関藤一郎教授略歴・主要論文

## — 略 歴 —

|             |   |
|-------------|---|
| 明治45年 1月    | 東京都に生れる                                 |
| 昭和6年 3月     | 第一高等学校文科卒業                              |
| 昭和9年 3月     | 東京帝国大学文学部社会学科卒業                         |
| 昭和10年 3月    | 同 上 大学院中退                               |
| 昭和21年 7月    | 伊勢新聞社社員                                 |
| 昭和22年 7月    | 三重県社会教育課長                               |
| 昭和25年 7月    | 三重県立大学専任講師（社会学担当）                       |
| 昭和27年 4月    | 南山大学助教授                                 |
| 昭和29年 4月    | 同 上 教授                                  |
| 昭和35年 5月    | 関西学院大学社会学部教授                            |
| 昭和39年 4月    | 同 上 大学院修士課程指導教授                         |
| 昭和45年 4月    | 同 上 大学院博士課程指導教授                         |
| 昭和45年 4月    | 同 上 社会学部長（昭和47年3月まで）                    |
| 昭和47年 4月    | 同 上 図書館長（昭和51年3月まで）                     |
| 昭和51年 5月 3日 | フランス政府からパルム・アカデミック・オフィシエ賞を授与さる          |
| 昭和52年 6月 3日 | フランス政府からオールドル・ナショナル・ド・メリット，シュヴアリエ賞を授与さる |
| 昭和52年 6月    | 社会学博士（関西学院大学）                           |
|             | 日本社会学会々員                                |
|             | 関西社会学会々員                                |
|             | 日仏社会学会々員                                |
|             | 日本労務学会々員                                |
|             | 日本労使関係研究会々員                             |

## — 著 書 —

|                               |         |          |
|-------------------------------|---------|----------|
| 看護社会学                         | 石泉社     | 昭和31年 9月 |
| 成人の教育（現代の教育の中1章）              | 誠信書房    | 昭和33年 5月 |
| 職業と社会（万成・杉編産業社会学の中1章）         | 有斐閣     | 昭和42年 5月 |
| 明治期の医師の倫理の特質（日本近代化の研究上）       | 東大出版    | 昭和47年 1月 |
| 新しい労働者の研究動向（万成編・新しい労働者の研究第1章） | 白桃書房    | 昭和48年 5月 |
| デュルケムと近代社会                    | 法政大学出版局 | 昭和52年 3月 |

## — 学 術 論 文 —

|               |                 |        |          |
|---------------|-----------------|--------|----------|
| 医師の世襲傾向について   | 三重県立大学紀要人文科学第2号 | 三重県立大学 | 昭和27年 3月 |
| デュルケムの集合意識の問題 | アカデミア第6輯        | 南山大学   | 昭和29年 1月 |

|                           |                     |                |          |
|---------------------------|---------------------|----------------|----------|
| 教師の職業生活調査                 | アカデミア第9輯            | 南山大学           | 昭和30年1月  |
| デュルケムにおける「社会的」なもの         | 社会学評論第21号           | 日本社会学会         | 昭和30年7月  |
| 専門職業の特徴と現代における1, 2の問題     | アカデミア第11輯           | 南山大学           | 昭和30年12月 |
| T・パーソンズの行為の理論研究           | アカデミア第15輯           | 南山大学           | 昭和32年1月  |
| デュルケムの社会理論における教育の問題       | アカデミア第20輯           | 南山大学           | 昭和33年1月  |
| 一宮市における通勤者と買物調査           | 一宮市実態調査             | 一宮市役所          | 昭和33年12月 |
| アメリカにおける最近の階級研究の傾向について    | 中部経済学第9号            | 中部経済学会         | 昭和33年    |
| 産業社会と経営者の役割               | アカデミア第24輯           | 南山大学           | 昭和34年11月 |
| 産業社会における社会移動の問題           | 東海短大論叢              | 東海大学<br>経済学会   | 昭和34年    |
| 近代的経営者と社会的責任の問題           | 関西学院大学社会学部<br>紀要第1号 | 関西学院大<br>学社会学部 | 昭和35年11月 |
| フランスにおける社会学と経済学の接近の傾向について | 南山大学経済学部創設<br>記念論文集 | 南山大学           | 昭和36年1月  |
| フランス産業社会学の近況              | 社会学部紀要第3号           | 関西学院大<br>学社会学部 | 昭和36年11月 |
| 知識的職業と社会                  | 論攻8号                | 関西学院大学         | 昭和36年11月 |
| デュルケムにおける国家論              | ソシオロジ 128号          | 社会学研究会         | 昭和37年2月  |
| バランディエ・動的ならびに批判的人類学への反省   | 社会学評論第47・48号        | 日本社会学会         | 昭和37年2月  |
| デュルケムの科学論                 | 社会学部紀要第5号           | 関西学院大<br>学社会学部 | 昭和37年7月  |
| 経済発展と社会学の問題               | 社会学評論第52号           | 日本社会学会         | 昭和38年3月  |
| フランス産業社会学                 | 産業と社会創刊号            |                | 昭和38年8月  |
| 産業社会と個人主義                 | 社会学部紀要第7号           | 関西学院大<br>学社会学部 | 昭和38年8月  |
| フランス労働組合の最近の動向            | 労働協会雑誌              | 日本労働協会         | 昭和40年11月 |
| フランス産業社会学の動向              | 労働協会雑誌              | 日本労働医会         | 昭和41年4月  |
| フランス社会学の現状                | ソシオロジー-32号          | 社会学研究会         | 昭和41年9月  |
| デュルケムにおけるアノミーと個人主義        | 社会学部紀要14号           | 関西学院大<br>学社会学部 | 昭和41年12月 |
| フランスの経営者の問題               | ソシオロジー-46号          | 社会学研究会         | 昭和42年11月 |
| フランスのビュロオクラシーの問題点         | 社会学部紀要15号           | 関西学院大<br>学社会学部 | 昭和42年12月 |
| デュルケムとドイツ                 | // 16号              | //             | 昭和43年3月  |
| アルヴアックスの階級論について           | // 17号              | //             | 昭和43年11月 |
| フランスの階級研究の文献              | // 18号              | //             | 昭和44年5月  |
| 明治期の医師の倫理                 | // 20号              | //             |          |
| マレーシア最近の労働事情と労働組合の動き      | // 23号              | //             |          |
| 最近におけるデュルケム研究について         | // 26号              | //             | 昭和48年3月  |
| 1770年のフランスの労働組合           | // 27号              | //             | 昭和48年12月 |
| フランスにおける労働者の月給化の動き        | // 28号              | //             | 昭和49年3月  |
| 技術発展と人間—フリードマンの社会学—       | // 31号              | //             | 昭和50年12月 |
| フランス社会とフランス社会学            | // 32号              | //             | 昭和51年3月  |
| デュルケムと教育理論 I              | // 33号              | //             | 昭和51年12月 |

|   |                |            |          |
|---|----------------|------------|----------|
| デュルケームと教育理論 Ⅰ   | 社会学部紀要34号      | 関西学院大学社会学部 | 昭和52年3月  |
| デュルケームの宗教研究について   | 〃 36号          | 〃          | 昭和53年3月  |
| 訳バランディエ教授の談話<br>「自分の研究をふりかえり見て」   | 〃 36号          | 〃          | 昭和53年3月  |
| フランスの労使関係の特質  | 〃 37号          | 〃          | 昭和53年12月 |
| パーソンズのデュルケーム解釈について  | 〃 38号          | 〃          | 昭和54年3月  |
| La théorie de l'état de Durkheim et ses implications                    | 関学欧文紀要 Vol. XI | 関西学院大学     | 昭和37年    |
| Durkheim et sa dynamique social.  | 〃 Vol. XII     | 〃          | 昭和38年    |
| Une étude de l'éthique médicale à l'époque de Meiji                     | 〃 Vol. XVIII   | 〃          | 昭和44年    |
| Quelques problèmes de l'éducation dans un pays en voie de développement | 〃 Vol. XXIII   | 〃          | 昭和49年    |

## — 翻 訳 —

|                                |                          |             |          |
|--------------------------------|--------------------------|-------------|----------|
| セルジュユタン「秘密結社」                  |                          | 白水社         | 昭和31年5月  |
| デュルケーム「デュルケーム社会的分業論」           | 世界大思想史全集<br>ジンメルデュルケーム篇中 | 河出書房        | 昭和34年6月  |
| デュルケーム「フランスの教育史上」              |                          | 普遍社         | 昭和41年9月  |
| デュルケーム「フランスの教育史下」              |                          | 普遍社         | 昭和41年9月  |
| デュルケーム「デュルケーム家族論集」(編訳)         |                          | 川島書店        | 昭和47年1月  |
| フリードマン「細分化された労働」(解説附)          |                          | 川島書店        | 昭和48年6月  |
| セルジュユタン「秘密結社」(改訂版)             |                          | 白水社         | 昭和47年11月 |
| デュルケーム「モンテスキューとルソ」<br>附初期社会学論集 |                          | 法政大学<br>出版局 | 昭和50年11月 |
| フラスチエ「開かれた時間—余暇と社会についての考察」     |                          | 川島書店        | 昭和51年7月  |